



会員募集!

明治から昭和初期にかけて
瀬戸内海沿岸の金浦から吉備高原の吹屋銅山までの60kmの道をおよそ40kgほどの鮮魚を天秤棒で担ぎ、夜を徹して12時間かけて駄伝方式で運んだ魚仲仕（うおなかせ）と呼ばれる男たちがいました
当時、銅、さらにはベンガラ景気に湧いていた山奥での何よりの御馳走は海の幸=とと銅山の関係者は新鮮な鯛、鯖(さわら)、鯿(ぶり)を熱烈に求めました
魚仲士たちはこの願いを怪力でかなえてくれました
そのルートが、「とと道」。一体どこを通る、どんな道だったのでしょうか？
私たちは半世紀前に使命を終え、深い森の中に埋もれていたこの道を再発見、整備しました
夏には雑草が道をおおい、歩けなくなる部分もあります
秋に草刈りをするとう往年の姿が現れ、これまでに500名を超えるウォーカーがこの道たどりました
この道を歩けば、距離を越え、時代を越えて備中の様々な世界が見えてきます
直立二足歩行を支える脚は本来の活動を果たして元気になります
そして道は維持され未来につながります

私たちは広くとと道トレイルファンを募り、会員としてとと道を歩き、とと道維持へのご協力をお願いします。国交省中国地方整備局の「夢街道ルネサンス」へも認定されています。
協議会規約（抜粋）をご参照いただき、活動趣旨にご賛同いただければ、添付の入会申込書に必要事項記入の上、地区内役員あるいは事務担当宛お申込み方よろしくお願いたします。

ヒトの最愛の相棒「歩く道」を共に歩きましょう



備中とと道トレイル推進協議会 会長 小見山節夫、役員一同 2024冬

備中とと道トレイル推進協議会規約（抜粋）

名称

第1条 この会は、備中とと道トレイル推進協議会（以下「本会」という）と称する。

連絡先

第2条 本会の連絡先は、小田郡矢掛町中1208-1 Tel080-3390-6935
金子晴彦 備中とと道トレイル推進協議会事務局内に置く。

目的

第3条 本会は、笠岡市金浦から高梁市成羽町吹屋まで、明治～昭和初期にかけてリレー方式で魚貝類を運んだかつての往来、通称「とと道」の再生、利活用を通じて、地域の歴史、文化、生活情報の収集、トレイルウォーク実施、観光振興と地域間の連携を図り、「とと道」を後世に伝えることを目的とする。

事業内容

第4条 本会は、目的達成の為に次の事業を行う。

- ①とと道の調査、トレイルガイド冊子、関連書籍等制作。
- ②とと道の整備、道標等の設置。
- ③とと道の広報活動、ウォーキング等の企画・実施。
- ④とと道沿道学区の生徒へのとと道紹介、整備支援への参加促進。
- ⑤とと道ガイド育成講座開催（細則別途規定参照）。
- ⑥その他本会の目的を達成するために必要な事業。

組織と役割

第5条 この会の会員は次の2種類とする。

- ①正会員は、本会の目的に賛同し、入会登録を行い事業運営活動に参加する者とする。
- ②賛助会員は、本会の目的に賛同し、入会登録を行った者とする。

入会

第6条 会員として入会しようとする者は、入会申込書、会費を添えて会長あてに提出し、会長の承認を得るものとする。

会費

第7条 会員は、総会において定める会費を納入しなければならない。

- ①正会員 ￥2,000（入会金 ￥1,000 年会費 ￥1,000）
- ②賛助会員 ￥1,000（年会費 ￥1,000）

入会申込書

備中とと道トレイル推進協議会会長殿：
活動の目的に賛同して、会費を添えて入会を申し込みます。

令和 年 月 日

氏名 男 女

生年月日 _____

住 所	〒
自宅電話番号	
自宅FAX番号	
携帯電話番号	
メールアドレス	
自動車免許	有 無
会員の種別選択	賛助会員
備中とと道推進協議会に対する要望等	
備 考	

申込書は地区内役員に提出するか下記まで郵送あるいはメールでお願いします。